

シリーズ 3

seesaw



PACO PACO RESCUE

どうさ・ばしょ・ようすのえいたんごゲーム

PACO PACO RESCUE SeesawC3

はじめ方

Windows95の場合

■スタートの前に次の動作環境をチェックしましょう。

- a) タスクバーのスタート・ボタンをクリックして、設定→コントロールパネルを選びます。
- b) コントロールパネルの[画面]アイコンをダブルクリックして[ディスプレイの詳細]のタブをクリック、カラーパレットがHighColor(16ビット)以上、デスクトップの領域が640×480以上になっていることを確認してください。

■CD-ROMをドライブにいれると[SeesawC]スタートメニューが現れますので[Install]ボタンをクリックしてください。([SeesawC]スタートメニューが現れない場合はエクスプローラなどからCD-ROMの[Setup]を起動してください。)

■Setupで[次へ]をクリックするとWindowsのスタートプログラムに登録されます。続いてQuickTimeをインストールしてください。QuickTimeのインストールはすべて英語になりますが、[Agree]→[Install]→[Start]→[Delet]→[Install]→[Play Sample]ボタンをクリックしていただきます。インストールが終了した後、[Movie Player]でQuickTimeのSampleが再生できればOKです。

■タスクバーのスタート・ボタンをクリックして、プログラムのSeesawC→SeesawC3から、もしくはCD-ROMをドライブにいれて[SeesawC]スタートメニューから[Play]をクリックすると、いよいよ始まります。

Macintoshの場合

■スタートの前にまず次の4つの動作環境をチェックしましょう。

- ①アップルメニューの「コントロールパネル」内(メモリ)の(仮想メモリを「切」)(32ビットアドレスを「入」)を確認。

1

②モニタが32000色以上になっていることを確認。

③機能拡張フォルダ内に(Sound Manager3.1)(Quick Time2.1)があるをチェック。もし入っていない場合は「SeesawC3」ディスクのSetupフォルダからコピーしてください。

※上記①～③の操作の内ひとつでも行った場合は必ずMacintoshを再起動してください

④アップルメニューの「このマッキントッシュについて」内(最大未使用ブロック)が(6,144K)以上あることを確認してください。もし満たない場合はメモリを増設するか、他のアプリケーションを終了、または画面上のウインドを閉じるなどして、確保してください。

■CD-ROMドライブに「SeesawC3」ディスクをセットしてください。

■SeesawC3画面上に自動的に開いた(SeesawC3)フォルダ内のアイコンをダブルクリックするといよいよ始まります。

終わり方

[MENU]画面右下の[QUIT]ボタンをクリックすると終了できます。

※この画面にいても常に右下のボタンをクリックしていくと[MENU]画面にもどることができます。急いで終わりたい時、Windowsの場合は、キーボードのCtrl-Qを、Macintoshの場合はキーボードの⌘-Qを押してください。

プリントアウトの方法

●バコバコすごろく

①[MENU]画面左下[おとなのかたへ]ボタンをクリック。

②開いた[おとなのかたへ]画面下[print]ボタンをクリック。

③[print]画面の[バコバコすごろく]をクリック選択して[print]ボタンを押すと6枚のカラーページがプリントアウトされます。6枚をテープなどでつなぎ合わせて、双六をお楽しみください。

●dialogue

[SeesawC3]に出てくる全英語台詞をプリントアウトしたい方は上記[print]画面の[DIALOGUE]をクリック選択したあとで、[print]ボタンをクリックしてください。

●INDEX

[SeesawC3]に出てくる単語リストをプリントアウトしたい方は上記[print]画面の[INDEX]をクリック選択したあとで、[print]ボタンをクリックしてください。

※必ずコンピュータ本体とプリンターが正しく接続されていることを確認してください。

2

PACO PACO RESCUE

なんでもおまかせ「パコパコレスキュー」のたいいんたち



PACO
いねむりボス



FROGGY
パコのあいぼう



PACOLENA
てきぱき ひしょ

3

じけんその1

LOST CAT IN THE HAUNTED HOUSE

オバケやしきのまよいねこ



ぼくのかわいいねこ、ミトンズが
オバケやしきにまよいこんじゃった。
パコ、ミトンズをつれてきて!

4

じけんその2

ATTACK OF THE SPACE CRAB!

カニロボットしゅつげん!



じけんその3

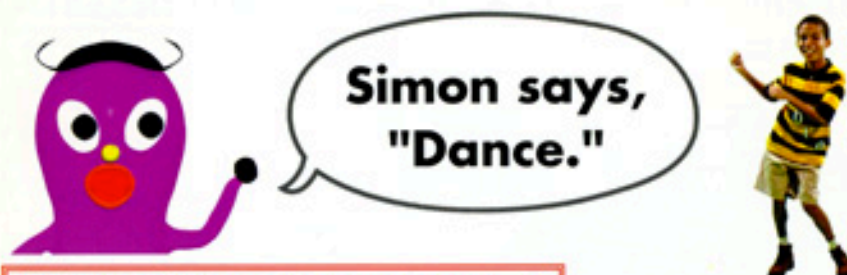
WHERE'S POPO? LOST IN THE TSUBO DESERT

ツボさばくのポポ



●親子で楽しむ対話ゲーム
どうさのことば

Simon Says



Simon Says (サイモンの言うとおりに)ゲーム

子どもは動作を通じて言葉を覚えることが大の得意です。英米の子どもたちも大好きな「めいれいゲーム」Simon Saysで、楽しみながら、動作を表す動詞を覚えましょう。

(あそびかた)

- ①SSC3に出てきた動作を表す単語を、お子さんの興味に合わせて5～10個ピックアップします。dig (ほる)、dance (おどる)、run (はしる) など全身を使って様子を表す動詞を最初は選ぶとよいでしょう。
- ②まず、①で選んだ動詞をお子さんといっしょにおさらいします。 おうちの方が "Dig." と言いながら地面を掘るまねをして、お子さんにも同じように "Dig." と言いながら掘るまねをさせます。同様に5～10個の単語をテンポよくおさらいします。

③ゲームのルールを教えます。おうちの方が Simon says, "Dance." (「おどきなさい」とサイモンが言っています) のように Simon says～と言ったときはその通りにし、ただ "Dance." のように言ったときはその通りにしてはいけないことが唯一のルールです。

④ルールがわかったらゲームのはじまりです。はじまりの合図としておうちの方が Are you ready? と元気よくたずね、お子さんに OK! とか Ready! とか大きな声で答えさせることにしておく、ゲームが始まる楽しい緊迫感が毎回定番で味わえるようになります。

⑤おうちの方は、最初はゆっくり Simon says, "Run!" のように言いながら、自分でも走るまねをしてお子さんにヒントを出してあげるとよいでしょう。お子さんがゲームに慣れないうちは、Simon says, "Run!"... Simon says, "Knock!" のように、Simon says をつけた文をゆっくり言い、実際にその動作をすることが正解となる場面を多くつくって、お子さんに自信を与えましょう。

⑥ゲームに慣れてきたら、テンポよく指示文を出すようにします。

⑦ほかの家族やお友達もいっしょにゲームができるときは、まちがえたらすわることに決めておき、最後まで残った人を You are the champion! と言ってほめましょう。

- 親子で楽しむ対話ゲーム
ようす・きもちのことは

What's the Matter?



What's the matter?

What's the Matterゲーム

ひとりが何か様子を表す演技をして、もうひとりが "What's the matter?" とたずねます。"I'm～." に続けて自分の気持ちや様子を表す形容詞をたのしく身につけることのできるゲームです。

(あそびかた)

- ①まず最初に形容詞のおさらいをします。ここでは、happy (たのしい)、sad (かなしい)、angry (おこった)、cold (さむい)、hot (あつい)、wet (ぬれた)、dry (かわいた)、itchy (かゆい)、sleepy (ねむい)、tired (つかれた)、hungry (おなかのすいた)、thirsty (のどのかわいた)、sick (びょうきの) など、自分の気持ちや様子を表す形容詞をピックアップして、それぞれおうちの方が動作をつけておさらいします。



I'm sad.

- ②お子さんが慣れないうちは、1番にあげた単語のうち、happyとsad、coldとhotなどの対語を3組くらいにしぼって選んで少しずつ教えるとよいでしょう。
- ③まず、おうちの方が選んだ形容詞の中からひとつを選びその様子を動作で表します。
- ④お子さんに、"What's the matter?" (どうしたの) とたずねさせます。はじめはじょうずに言えなくてもOKです。
- ⑤お子さんの問いかけに対し、"I'm cold." (寒いの) のように答えます。
- ⑥③～⑤をくり返し、"What's the matter?" "I'm～." の対話に慣れさせます。
- ⑦最初にピックアップした形容詞にだいが慣れてきたら、今度は役割を交替します。
- ⑧お子さんに、いろいろな形容詞を表すジェスチャーをさせ、おうちの方が "What's the matter?" "Are you itchy?" のようにたずねます。お子さんはこのとき "Yes." か "No." と答えればいだけでいいです。おうちの方は、お子さんのジェスチャーに対して "Are you～?" といろいろな問いかけをして、お子さんの耳を形容詞の表現に親しませましょう。

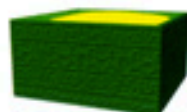
●親子で楽しむ対話ゲーム
ばしょのことば

Hide & Seek



Now, guess
where it is.

It's in this
green box.



Hide & Seekゲーム

おもちゃや文房具など身近なものを使って楽しむ「かくれんぼゲーム」です。場所を表す前置詞の感覚をしぜんに身につけられます。

(あそびかた)

- ① クレヨンや消しゴム、ブロックやマスコット人形など、あまり大きくないものを10個くらい用意し、テーブルの上に置きます。お子さんがすでに英単語として親しんでいるものをできるだけ多く選ぶとゲームの楽しさも学習効果も倍増です。
- ② 空き箱を3つくらい用意します。色違いのティッシュの空き箱などを利用してもいいですね。

③ おうちの方が、"Let's play hide and seek!"と言います。お子さんには、"That's a good idea!"とか"Good idea!"のように答えることを教えて、楽しいゲームの始まりの合図にしましょう。もちろん<どうさのことばゲーム>で紹介した"Are you ready?" "Ready!"のかけ声もOKです。

④ ルールはかんたん。まずおうちの方が、"Now close your eyes. OK. Count from one to ten."と言って、お子さんに目をつぶらせ10まで数えさせ、その間にテーブルの上にあるものからひとつをとり、どれかの箱にいれます。

⑤ 10まで数え終えたら、"OK. Open your eyes, and guess what's missing and where it is." (さあ、目を開けてごらん。何がなくなっているかな。どこにあるかな)と問いかけます。

⑥ "Well, a red crayon?" のようにお子さんがなくなったものを当てたら、"Yes, you're right."とほめ、"Now, guess where it is." (さあ、どこにあるか当ててごらん)と促します。"It's in the box."とか"It's in this green box."のように答えられればパーフェクトですが、もちろん、"In this box."のように言ってもOKです。

⑦ お子さんが、"This green box?" (この緑の箱?) のように前置詞を用いずに答えただけでも、"Yes. It's in this green box!" のように、おうちの方が正しい文でくり返すようにし、箱の中にいれたものを取り出します。

⑧ ④～⑦をくり返しあそびます。前置詞の中でもまずいちばんわかりやすいinだけを扱う、シンプルで、子どもがくり返しあそびたがる楽しいゲームです。お子さんが英語をまったく使えなくても無理強いせず、おうちの方が英語を用いてゲームをすすめる中で、英語ゲームの楽しさを味わわせ、しぜんに前置詞inの使い方に慣れさせるようにしましょう。

SeesawC3 PACO PACO RESCUE

出 演	Laura Sheridan (ANNE) Jason Townes (JAY) Kevin Adams (RICKY)
構 成	青木昶幸、潮永光生
音 楽	手使海ユトロ
英語監修	Eric Jacobsen
ディレクション	土屋 渉
コーナーディレクション	ふるごおり 祥 (space crab)、林直樹 (haunted house)、末岡孝之 (Popo)
グラフィックスデザイン	堀水理佳代
サウンドデザイン	染谷和孝
プロダクションマネジネン スタッフ	永田真粧美 John Rutledge、川嶋 巖、越山里志、坂戸英明、篠本悟和、 中村弥生、長崎義道、根岸拓、長谷部哲也、三岳 智、伊藤まどか
パッケージデザイン	安斎 肇、山口あかね (A.N.Z.)
ブックレットデザイン	大堀 圭子
脚本&プロデュース	潮永光生

Special thanks to

Ko Shinohara (IPG), Shunji Okada (ZAZOU), N.Y. 撮影クルー (NIPPAS STUDIO)
Shirley Kwan Kisaichi, Kent Frick, Julia Yermakov, トイズオフィス、SONY PCL
atom, グラフィックジャパン, C.A.P.

制作・発売元 株式会社愛があれば大丈夫

Copyright ©1997 Ai ga areba Daijobu Ltd.



